

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」沼津金岡校		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日 ～ 2025年12月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年12月1日 ～ 2025年12月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員間でのコミュニケーションが多く、情報共有がよくなされている。	・それぞれが疑問に思ったことをすぐに確認できるような環境やかかわりを意識することができている。 また1人の子どもに対して複数の職員が交代で支援に取り組むことで現在の子どもの状況について全体で把握、相談がしやすいようにしている。	・情報の伝達方法についてはそれぞれが分かりやすい形式を考え工夫している。今後会議や記録の質を高めることで、人間での情報の伝達だけでなく、全体共有の効率的な実施方法を検討するようにしていく。
2	・支援後のフィードバックを丁寧にやっている。	・支援内容や様子を伝えるだけではなく、子どもの現われから今後の活動の見通しや家庭で参考になるかかわりのヒントをお伝えできるよう意識している。	・経験値や知識量によってフィードバックでお伝えできる内容に差が出てしまう。職員1人1人がご要望に応じて更に適切な返答ができるよう、職員間での引継ぎ時に出来るだけ具体的に伝えられるように意識を高めている。
3	・指導員1人1人が様々な特性のお子さんに対応できる。	・担当する子どもを固定することなく、バランスよく支援を担当することで、1人の職員しか対応できないという状況が生まれないようにしている。	・職員それぞれが自身の特徴を生かし、対応に自信をつけることでさらに対応できる幅を広げられるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・外部研修など他の事業所での取り組みを参考にする機会が少なく、新しい取り組みが少なくなってしまった。	・職員配置の変更があった後に立て直すまでに時間がかかってしまった。	・職員の配置状況に応じて、業務内容や量の調整を効率的に行う必要があった。そのために配置の変更がある前から業務の分担について想定し、すぐに対応できるようにしていく。
2	・集団支援の実施が少ない。	小集団活動のために支援日の調整を行う必要があるが、支援日の変更を簡単に行えない家庭も多く、積極的な実施は行わなかった。	・個別対応中は課題が見えにくいお子さんがいる。集団内での現れを確認するため、支援の途中で小集団の活動に変更することを増やしている。今後計画的に小集団活動を行う際の参考に出来るようにしていく。
3	・防災訓練の実施が全体に共有しきれていない。	・実施した内容を保護者に共有する形がSNSでの発信が中心となってしまう。	・すべての保護者が確認できるよう、LINE配信や防災訓練報告欄を玄関に設置する等の対応を検討している。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日					2026 年 2 月 14 日	
		利用児童数				16	回収数	16
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	2	0	0		・年齢やお子さんの特性に合わせて活動スペースを決めている。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	0	0	1		・基準人員以上の職員を配置している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	0	0	0		・スケジュールボード等を活用して、分かりやすい環境を整えている。また、全員に守ってほしいお約束は視覚化している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	0	0	0	いつも消毒をして下さり、空気清浄機を使用していて心地よい環境であると思います。	・支援終了後に、机・椅子の消毒を行い、清潔を保つようにしている。
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	2	0	0	ベースに合わせて声をかけて下さっていると思います。	・それぞれののお子さんに合わせた支援プログラムを用意し、適切な声掛けを心掛けている。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	1		・プログラムの公表を行っている。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	0	0	0		・毎回のフィードバックによって聞き取った内容を元に計画の作成を行っている。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	0	0	1		・計画作成時に本人支援、家族支援、移行支援それぞれについて説明を行っている。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0		・ミーティングや個人間での引継ぎを通じて計画内容に応じた支援を行うように意識している。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	0	0	1		・活動プログラムは前回の支援の様子に応じて内容を検討し、固定化するかどうか判断している。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	0	5	8		・必要に応じて対応していく。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0		・契約時に説明を行っている。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	0		・計画作成時に説明を行っている。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	4	2	4		・張り紙することで研修を共有している。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	16	0	0	0		・フィードバックを行う事で、気になる点などを共有している。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	2	1	3		・保護者の希望に応じて、対応している。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	0	いつも受けていて励みになっています。	・お子さんの自己肯定感を高められるようなかわり方を意識している。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	0	8	7		・開催は出来ていないが、保護者会などを検討している。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	0	0	2	すぐに対応して下さいまして先生方が情報を共有していて安心できます	・契約時に相談対応について説明している。また指導員が必要を感じた際に児発管に共有され、相談対応を行う事がある。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	0	1		・フィードバックの時間を必ず確保している。 ・LINEを活用して情報共有できるようにしている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	1	0	7		・ブログやSNSを定期的に更新している。支援中の写真については希望に応じてLINEで共有することもある。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	2		・個人情報の取り扱いについて契約時に説明を行っている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	0	0	7		・作成したマニュアルは玄関に設置して閲覧できるようにしている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	0	0	9		・月に1回の防災訓練を行い、ブログで紹介している。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1	0	4		・安全計画を作成し、安全面への配慮を行っている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1	0	8	すぐ状況を伝えて下さるので安心できています	・怪我についてはフィードバック時に必ず保護者に共有するようにしている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	0		・お子さんのその日の様子をよく観察し、本人が安心して活動が進められるようにしている。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	0	0	1	いつも楽しいと言っています	・お子さんが楽しめるように、様々な支援グッズやプログラムを用意している。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	0	0	0	いつも丁寧に説明して下さいありがとうございます。	・支援見学の促しをし、実際の支援場面についてイメージしていただけるようにした。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」沿津金岡校		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・お子さんの特徴に合わせた活動スペースを毎回指導員間で相談して決めている。	・支援室数は確保できているが、スペースの大きさによって活動範囲を工夫したい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・基本人員以上の指導員を必ず配置できるようにしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・張り紙をすることで、危険なことや意識することを分かりやすく示している。	・児童発達支援のお子さんに合わせて段差や壁の凹凸を減らす配慮が更に必要である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎回の清掃により、清潔に支援室や療育用品を保てるようにしている。	・建物の老朽化により、断熱性能が低くエアコン効率が悪い。構造上追加でエアコンの取り付けが難しい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・ろうかに遊びスペースが確保されており、希望により場所を移動して遊ぶことができる。	・遊びスペースにより、廊下は狭くなり、混雑することがあるため、事故起きないように配慮していく。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・職員全体で話し合いを行うようにしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・LINE配信を取り入れて評価アンケートを配布することでご意見を多くいただけるようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員が都度意見を発信してくれており、改善点を検討することができている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・現在実施できていないため、必要に応じて実施を検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・社内研修への参加だけでなく、経験の長い職員を講師とした研修、外部研修等様々な形を取り入れている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・HPに掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・日々お子さんの様子を共有することで、アセスメントを継続し計画へ取り入れることができている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・普段の引継ぎを含め、担当している職員の意見を取り入れながら計画の作成を行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・計画がすぐに確認できるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・年に1度アセスメントシートを作成しているが、日々の様子を共有することでインフォーマルなアセスメントも行えている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・必要な項目については計画を設定して説明をしている。計画内容に関わらず、必要に応じて支援を進めている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・個々の引継ぎを行う事でプログラムの見直しがなされている。必要に応じて全体で活動内容を見直すようにしている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・固定化が必要なお子さん以外は、支援内容を工夫して活動意欲が湧くようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・お子さんの希望に応じて集団活動を取り入れるが、怪我等の心配がないか十分に検討してから実施している。	・計画に集団活動を組み込むことができていないお子さんもいる。しかし集団活動への意欲が出てきた際に支援に取り入れることを都度検討している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・全体で情報共有をしながら、細かい内容の設定については個々での引継ぎにより決定している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援終了後は時間が取れないため、次の日に情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・日々支援記録を入力している。支援記録の確認と口頭での伝達により支援内容について研修している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・職員への聞き取りを行い、支援の方向性について定期的に見直ししている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・現状は会議に児発管が参加していることが多い。今後は指導員の参加も検討している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・特定の関係機関との連携は深められてきているが、更に協力できる期間を増やせるように行動していく。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		・保育所等との連携関係がまだ不足している。今後連携できる機会をさらに増やせるようにしていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		・移行の際の会議の開催は行っていない。移行時の各機関への連携の提案方法等から再検討したい。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		○		・昨年度、児童発達支援センター主催の研修に1度参加できた。参加機会をさらに増やしてスーパーバイズを受ける機会を設けられるようにしたい。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		・集団内での活動を希望される方は少なく、地域での活動は計画していない。今後希望が増えた場合、交流の機会を検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・フィードバックの時間を確保しているため、都度情報共有を行えている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・必要と判断した場合に保護者と本人と職員で話し合いの機会を作るようにしている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に説明を行っているが、ご質問に合わせて改めて説明することもできる。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・計画作成時だけではなく、日常の課題に対して相談があれば以降に合わせて支援内容を柔軟に変更している。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・計画内容は説明を行い、保護者の了承の元サインしていただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・ご相談があった際は相談に応じ、出来るだけ具体的な提案をさせていただくようにしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		・保護者会の開催を検討しているが、まだ実現できていない。ご希望についてお伺いするようにしていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・相談の申し入れがあった際は、児発管への報告後、すぐに対応するように仕組化している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・月1回カレンダーを配布したり、ブログ、SNSを活用して情報をお伝えしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・契約時に個人情報の取り扱いについて説明を行い、情報の扱いに十分注意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・支援内容の報告や相談対応時に、お伝えする内容や言葉選びに気を付けて対応させていただいている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・防犯上の観点から地域交流は控えている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルを玄関に回覧できるように配置している。また、会社として訓練を実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPを策定し、災害を想定した訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・基本情報シートの記入をお願いしており、お子さんの情報を共有して頂けている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		・食物アレルギーについて対応が必要な場面はない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・会社として安全管理について研修が行われている。事業所内でも安全面への対応を日々確認している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・契約時に確認を行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・小さなことでも共有し、対応について検討を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・委員会の設置、社内研修への参加を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・契約時に身体拘束について丁寧に説明し、支援計画にも記載をしている。	